

令和2年中の特殊詐欺発生傾向

集計期間R2.1.1～R2.12.31

◆令和2年中 特殊詐欺被害認知件数・被害額 前年比（暫定値）

区 分	平成30年中		令和元年中		令和2年中		前年比					
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	増減率	被害額(円)	増減率		
特殊詐欺 合計	154	408,156,727	125	237,870,776	125	296,781,464	0	0.0%	58,910,688	24.8%		
	(49,855,677)	(62,939,000)	(103,438,000)			(40,499,000)	(64.3%)
内 訳	オレオレ詐欺	57	108,701,050 (22,000,000)	22	59,860,000 (4,000,000)	11	45,415,000 (14,715,000)	-11	-50.0%	-14,445,000 (10,715,000)	-24.1% (267.9%)	
	預貯金詐欺		令和2年から新設 (オレオレ詐欺から分派)	40	45,087,000 (45,087,000)	45	52,581,000 (52,581,000)	5	12.5%	7,494,000 (7,494,000)	16.6% (16.6%)	
	架空料金請求詐欺	67	250,538,561 (6,559,677)	38	82,163,400 (2,431,000)	41	139,232,352 (0)	3	7.9%	57,068,952 (-2,431,000)	69.5% (-100.0%)	
	還付金詐欺	5	2,997,079 (0)	3	3,542,777 (0)	2	1,630,323 (0)	-1	-33.3%	-1,912,454 (0)	-54.0% (0.0%)	
	融資保証金詐欺	9	8,334,037 (0)	6	6,996,599 (0)	5	8,780,789 (0)	-1	-16.7%	1,784,190 (0)	25.5% (0.0%)	
	金融商品詐欺	1	10,000,000 (0)	3	28,800,000 (0)			-3		-28,800,000 (0)		
	ギャンブル詐欺	1	6,290,000 (0)			1	13,000,000 (0)	1		13,000,000 (0)		
	交際あっせん詐欺											
	その他の特殊詐欺											
	キャッシュカード詐欺盗	14	21,296,000 (21,296,000)	13	11,421,000 (11,421,000)	20	36,142,000 (36,142,000)	7	53.8%	24,721,000 (24,721,000)	216.5% (216.5%)	

※キャッシュカードをだまし取られた後に払い出された金額（払出金額）も被害額（内数）として計上。
表記の「令和元年」は、平成31年1月から4月を含む（以下、同じ）。

◆令和2年中の特殊詐欺被害の特徴

○ 令和2年中の特殊詐欺被害認知件数・被害額

認知件数 125件（前年比±0件）

被害額 2億9,678万1,464円（前年比+5,891万688円、+24.8%）

○ 被害額が増加

被害額は総額3億円に迫り、前年比約5,900万円増加。

キャッシュカード等を対象とした預貯金詐欺・詐欺盗の被害件数の増加や、1,000万円を超える高額被害が多発したことが主な要因とみられる。

1,000万円を超える高額被害は合計7件（前年比+3件）発生し、被害総額は1億379万円余で前年比4,074万円余の増加。（最高被害額2,578万円）

特に架空料金請求詐欺の高額被害は前年比+2件、+4,134万円余で、老人福祉施設入居権の名義貸しやマンション購入の名義貸しなどのトラブル解決名目、訴訟費用名目で、複数回にわたり現金を宅配便で送金するよう被疑者から指示され、高額被害につながっている。

～預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗の被害額～

預貯金詐欺 5,258万円余（前年比+749万円余）+16.6%

キャッシュカード詐欺盗 3,614万円余（前年比+2,472万円余）+216.5%

～1,000万円を超える高額被害内訳～

架空料金請求詐欺 5件 合計8,039万円余

オレオレ詐欺 1件 合計1,040万円

ギャンブル詐欺 1件 合計1,300万円

○ 被害の8割が預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、キャッシュカード詐欺盗

認知件数125件中、3つの手口の合計が106件と全体の84.8%を占める。

預貯金詐欺	45件(割合36.0%)
架空料金請求詐欺	41件(割合32.8%)
キャッシュカード詐欺盗	20件(割合16.0%)

○ キャッシュカード対象の被害が増加

認知件数125件中、キャッシュカードなど対象の被害は69件（前年比+19件）で全体の55.2%、被害額1億343万8,000円（同+4,049万9,000円）で全体の34.9%を占める。

（内訳：詐取49件、窃取20件）

預貯金詐欺は前年比+5件(+12.5%)、キャッシュカード詐欺盗は前年比+7件(+53.8%)と増加。

○ 被害者の特徴

被害者は、65歳以上の高齢者が96名（割合76.8%）、年代別では、80歳代が44名(割合35.2%)、次いで70歳代が33名(割合26.4%)であり、依然として多くの高齢者が被害に遭っている。

男女別では、女性が83名(割合66.4%)、男性が42名(割合33.6%)で、女性が3分の2を占める。

○ コンビニエンスストアでの水際阻止が増加

コンビニエンスストアにおける被害未然防止は、阻止件数・阻止金額とも前年比8割増加し、未然防止全体でも約半数（48.8%）を占める。

阻止数	140件(前年比+65件)	86.7%の阻止件数増加
阻止額	1,855万円余(前年比+843万円余)	83.3%の阻止金額増加

◆ 特殊詐欺被害防止方策

○ 「犯人からの電話を受けない」

～犯人からの電話を受けない（かけない）ために～

- ・ 自宅固定電話への通話録音装置の取付け、又は常時留守番電話設定や非通知拒否設定を活用し、メッセージを残さない人や、相手が誰なのか分からない電話には出ない。
- ・ サイトの未納料金請求や「裁判になる」などと記載されたメール、封書などが届いても、無視して記載の連絡先には電話をかけない、返信をしない。

○ 「電話を受けてもだまされない」

～万が一、犯人からの電話を受けてもだまされないために～

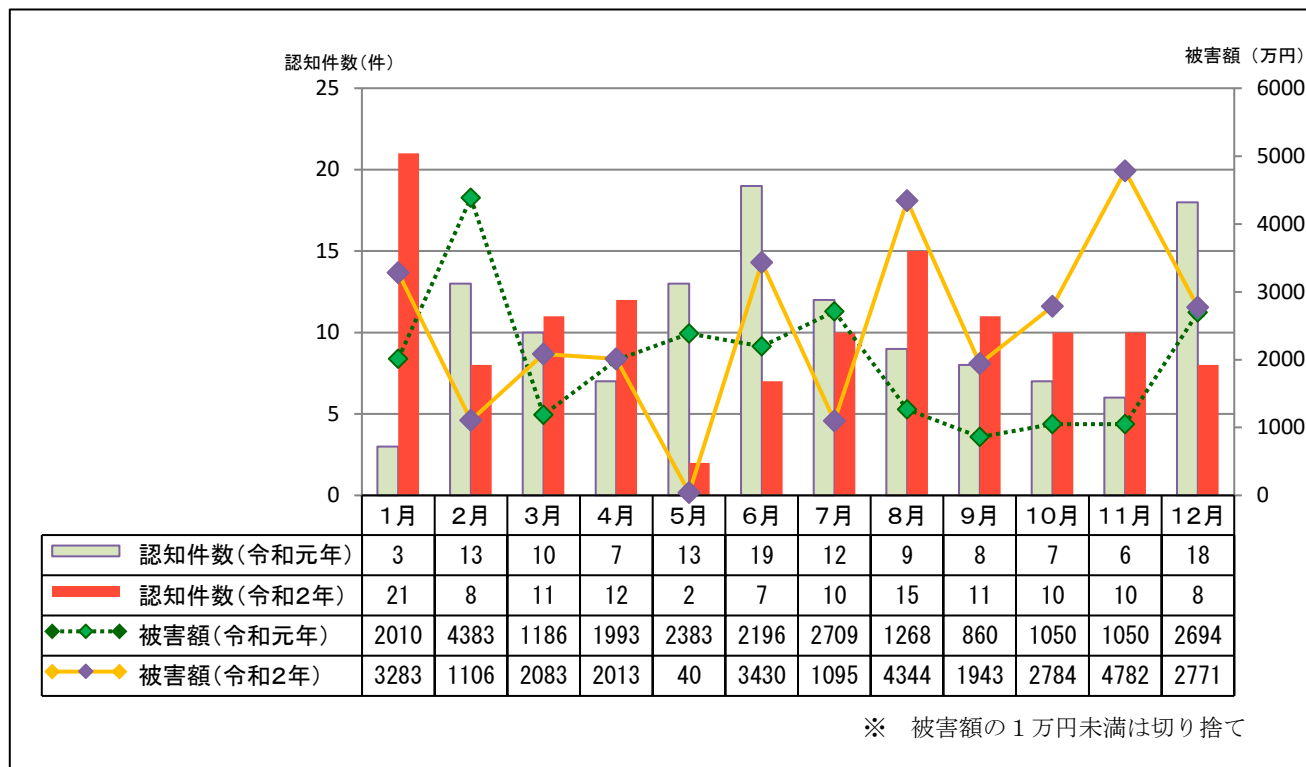
- ・ 電話でお金の話が出たら、詐欺を疑い、家族や警察に相談する。
- ・ 現金やキャッシュカードを要求されても渡さない、送らない。

○ 「だまされても周囲が阻止する」

～だまされた人がいても周囲で被害を食い止めるために～

- ・ 家族や知人等でお互いに声を掛け合う。
- ・ 金融機関、コンビニエンスストア、宅配業者又は公共交通機関等の職員による声掛けによって被害を阻止する。

◆特殊詐欺の認知状況（月別前年比）



◆認知状況表（月別・手口別）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
合計	21	8	11	12	2	7	10	15	11	10	10	8	125件	
オレオレ	2		3						1	1	3	1	11件	8.8%
預貯金	12	4	3	5	2	2	1	6		5	3	2	45件	36.0%
架空料金請求	5	3	2	1		5	7	4	5	1	4	4	41件	32.8%
還付金	1		1										2件	1.6%
融資保証金	1	1						2				1	5件	4.0%
金融商品													0件	0.0%
ギャンブル								1					1件	0.8%
交際あっせん													0件	0.0%
その他													0件	0.0%
キャッシュカード詐欺盗			2	6			2	2	5	3			20件	16.0%

◆市町村別特殊詐欺認知状況（暫定値）

罪種	特殊詐欺合計				オレオレ		預貯金		架空料金請求		還付金		融資保証金		金銭商品		ギャンブル		交際あっせん		その他		キャッシュカード詐欺		
	認知件数	被害金額	性別	認知件数	被害金額	性別	認知件数	被害金額	性別	認知件数	被害金額	性別	認知件数	被害金額	性別	認知件数	被害金額	性別	認知件数	被害金額	性別	認知件数	被害金額	性別	
総数	125	296,781,464	42 男 83 女	11	45,415,000	2 男 9 女	46	52,581,000	4 男 41 女	41	139,232,352	24 男 17 女	2	1,830,323	1 男 1 女	6	6,780,789	4 男 1 女	1	13,000,000	1 男 0 女		20	36,142,000	6 男 14 女
長野中央																									
長野東	29	73,340,866	8 男 21 女	2	11,900,000	2 男 0 女	7	4,463,000	7 男 0 女	12	36,867,152	6 男 6 女	1	831,315	1 男 0 女	1	2,276,499	1 男 0 女	1	13,000,000	1 男 0 女		5	4,100,000	5 男 0 女
信濃	2	5,840,000	1 男 1 女				1	1,081,000	1 男 0 女														1	4,579,000	1 男 0 女
山	2	2,740,000	2 男 0 女																				2	2,740,000	2 男 0 女
中野	3	3,443,000	3 男 0 女				2	2,843,000	2 男 0 女	1	800,000	1 男 0 女													
須坂	1	1,926,000	1 男 0 女																				1	1,926,000	1 男 0 女
飯	6	37,808,714	2 男 4 女							5	33,983,000	1 男 4 女		1	3,825,714	1 男 0 女									
千曲	11	29,385,000	1 男 10 女	4	16,355,000	4 男 0 女	6	8,842,000	1 男 5 女														1	1,088,000	1 男 0 女
上田	3	3,233,000	3 男 0 女				2	1,233,000	2 男 0 女														1	2,000,000	1 男 0 女
小川	4	3,001,000	1 男 3 女				3	2,980,000	3 男 0 女	1	21,000	1 男 0 女													
佐久	10	15,818,000	1 男 9 女				8	14,818,000	1 男 8 女														1	1,000,000	1 男 0 女
茅野	5	33,296,000	1 男 4 女				1		1 男 0 女	2	26,128,000	1 男 1 女											2	7,172,000	2 男 0 女
諏訪	3	3,437,000	3 男 0 女				3	3,437,000	3 男 0 女																
岡谷	1	1,880,000	1 男 0 女	1	1,880,000	1 男 0 女																			
伊那	3	6,184,000	1 男 2 女							3	6,184,000	1 男 2 女													
南	2	1,885,576	2 男 0 女							1	1,485,576	1 男 0 女													
飯	3	2,473,000	1 男 2 女				1	873,000	1 男 0 女	2	1,600,000	1 男 1 女													
木曾	2	4,099,000	1 男 1 女							1	3,100,000	1 男 0 女	1	999,000	1 男 0 女										
大町	1	2,890,000	1 男 0 女							1	2,890,000	1 男 0 女													
南	4	8,752,000	2 男 2 女	1	6,000,000	1 男 0 女	1	852,000	1 男 0 女	1	300,000	1 男 0 女											1	1,500,000	1 男 0 女
松本	17	25,891,000	7 男 10 女	3	6,300,000	2 男 1 女	7	7,994,000	1 男 6 女	1	900,000	1 男 0 女		1	780,000	1 男 0 女							5	10,037,000	2 男 3 女
安曇野	1	750,000	1 男 0 女							1	750,000	1 男 0 女													
大	2	9,500,000	2 男 0 女				1	2,500,000	1 男 0 女	1	7,000,000	1 男 0 女													
木曾	1	430,000	1 男 0 女											1	430,000	1 男 0 女									
その他	1	2,800,000	1 男 0 女							1	2,800,000	1 男 0 女													

※被害者の住居地をもとにした統計になりますので、警察署ごとの認知件数とは一致しません。
 その他は、県外居住の被害者が県内において被害に遭ったものです。

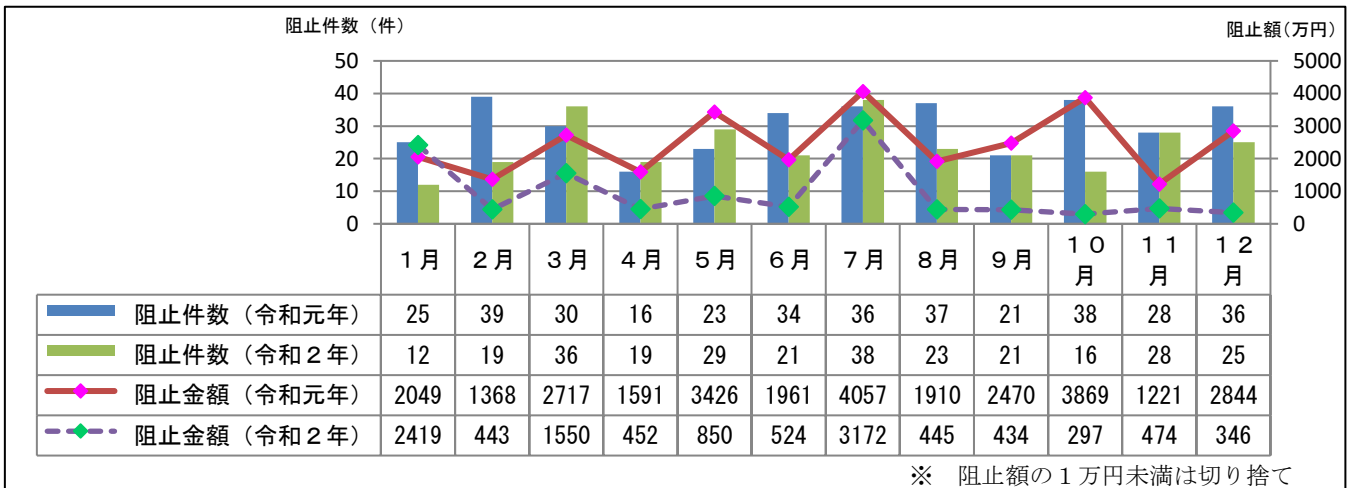
◆令和2年中 特殊詐欺被害阻止件数・阻止金額 前年比（暫定値）

区 分	平成30年中		令和元年中		令和2年中		前年比				
	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	増減率	阻止金額(円)	増減率	
被害阻止 合計	544	444,421,188	363	294,899,373	287	114,178,750	-76	-20.9%	-180,720,623	-61.3%	
内 訳	オレオレ詐欺	120	266,950,000	96	208,316,000	38	46,089,990	-58	-60.4%	-162,226,010	-77.9%
	預貯金詐欺			18		17		-1	-5.6%		
	架空料金請求詐欺	393	175,922,632	217	83,632,174	220	66,312,960	3	1.4%	-17,319,214	-20.7%
	還付金詐欺	29	999,056	21	1,997,545	2		-19	-90.5%	-1,997,545	-100.0%
	融資保証金詐欺	1	540,000	3	167,184	2	800,000	-1	-33.3%	632,816	378.5%
	金融商品詐欺										
	ギャンブル詐欺	1	9,500	1	424,150	2	806,800	1	100.0%	382,650	90.2%
	交際あっせん詐欺										
	その他の特殊詐欺			7	362,320	6	169,000	-1	-14.3%	-193,320	-53.4%

○ 阻止率は70.0%（同-5.6%）

※ 阻止率＝阻止件数÷（未遂事件を除いた認知件数＋阻止件数）

◆特殊詐欺の阻止状況（月別前年比）



◆特殊詐欺阻止状況 月別・手口別一覧

阻止件数（件）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
オレオレ詐欺	2	1	15	8	2	2	1	1	3	0	3	0	38	13.2%
預貯金詐欺	1		5				3		2	3		3	17	5.9%
架空料金請求詐欺	9	16	13	11	25	18	32	21	15	13	25	22	220	76.7%
うち、 電子マネー	7	11	7	5	15	14	26	19	10	10	18	18	160	55.7%
還付金詐欺			1		1								2	0.7%
融資保証金							1	1					2	0.7%
金融商品													0	0.0%
ギャンブル					1				1				2	0.7%
交際あっせん													0	0.0%
その他		2	2			1	1						6	2.1%
合計	12	19	36	19	29	21	38	23	21	16	28	25	287	

◆令和2年中 特殊詐欺被害阻止者一覧表

被害阻止者(件)	特殊詐欺										阻止金額(円)	
	合計 (%)		オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あっせん		その他
金融機関職員	30	10.5%	3	3	19		2		2		1	43,796,400
コンビニ従業員	140	48.8%	2		135						3	18,556,290
運送業者	0	0.0%										
警察官	3	1.0%			3							529,000
家族	77	26.8%	31	7	37						2	41,491,300
知人	17	5.9%		2	15							5,155,760
一般人	0	0.0%										
その他	20	7.0%	2	5	11	2						4,650,000
合計	287	100.0%	38	17	220	2	2	0	2	0	6	114,178,750

※ その他の内訳：保険会社の社員（2件）、県市町村などの行政職員（8件）、社会福祉協議会職員（1件）、裁判所職員（1件）
携帯電話会社の社員（5件）、家電量販店員（1件）、ドラッグストア店員（1件）、タクシー運転手（1件）

◆令和2年中 前兆事案件数

手口	令和元年中		令和2年中		増減		増減率	
	前兆事案		前兆事案		前兆事案		前兆事案	
	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話
オレオレ詐欺	786	(786)	207	(207)	-579	(-579)	-73.7%	(-73.7%)
預貯金詐欺	60	(60)	357	(357)	297	(297)	495.0%	(495.0%)
架空料金請求詐欺	3133	(42)	841	(45)	-2292	(3)	-73.2%	(7.1%)
還付金詐欺	82	(82)	30	(30)	-52	(-52)	-63.4%	(-63.4%)
融資保証金詐欺	7	(3)	1	(1)	-6	(-2)	-85.7%	(-66.7%)
その他	23	(16)	162	(118)	139	(102)	604.3%	(637.5%)
合計	4091	(989)	1598	(758)	-2493	(-231)	-60.9%	(-23.4%)

◆前兆事案の特徴

- 前兆事案は、前年同期比で2,493件減少（1,598件）
- オレオレ詐欺は、前年同期比で579件減少（207件）
- 預貯金詐欺は、前年同期比で297件増加（357件）
- 架空料金請求詐欺は、前年同期比で2,292件減少（841件）
- 還付金詐欺は、前年同期比で52件減少（30件）